



## プレスリリース

令和6年度草の根・人間の安全保障無償資金協力：

### ディリジャン地方道路地滑り防止ネット整備計画 贈与契約署名式の実施

エレバン：令和7年1月17日

令和7年1月17日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ディリジャン地方道路地滑り防止ネット整備計画」（供与限度額：68,943米ドル）の贈与契約署名式が、エレバン市のアルメニア・コミュニティ連合本部で開催されました。本式典では、青木豊駐アルメニア日本国大使とエミン・イェリツヤン・アルメニア・コミュニティ連合代表との間で贈与契約の署名が行われました。

本案件は、主要幹線道路であるディリジャン地方道路（M8）における土砂災害リスクの緩和を目的とするものです。具体的には、最も地滑りの発生リスクが高い区間において、補強ジオグリッドの設置及びピンネット安定化対策を実施することにより、地すべりに起因する死亡・重傷事故を含む土砂災害関連事故を防止することが期待されます。本案件の実施により、ナゴルノ・カラバフからの避難民1,000人を含む年間26,000人の地域住民及びディリジャン地方道路利用者の安全確保に寄与することが見込まれます。

エミン・イェリツヤン・アルメニア・コミュニティ連合代表は、「日本政府からの支援に大変感謝します。別の事業でも日本からの支援を頂いたことがあります。今回も日本の高いビジビリティを示しながら、成功裏に終わらせられるよう、しっかりと事業を進めていきたいと思っております」と謝意を述べました。



贈与契約締結の様子



青木大使とイェリツヤン氏による

贈与契約書の交換